

日時	2020年6月10日(水) 15~16時30分 (90分)
概要	親子オンライン鑑賞
	造形教室の親子に実施
場所	オンライン
参加者	5名 (2家庭 親2名子3名)
鑑賞作品	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホ「アルルの部屋」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_9ea6d5d6fc0949c0a4fbad5054c516ec~mv2.jpg ・葛飾北斎「神奈川沖波浦」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_ad03c247dab14a7ca44090e1474aa345~mv2.jpg ・ゴッホ「糸杉」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_bdf1b94cb018439e974478d0b89daf21~mv2.jpg

対象作品



事前配布資料

初めまして。今回授業を担当させていただきます、佐藤悠と申します。

普段はアーティストとして、また鑑賞プログラマーとして活動しています。<https://www.yusatoweb.com/>

今回は「オンライン親子観賞会」で、親子で作品を楽しむ方法を、さまざまお伝えしたいと思っています。いくつかの方法を検証するので、美術館へ行った際に、またお試しいただければと思います。

実施にあたり、当日のトラブルなど回避するため、以下、準備物などを記します。

<各家庭の準備物>

- ・工作用：A4の大きさの紙（チラシや裏紙OK） 子供1人に1枚
- ・テープ：ごく少量しか使いません。
- ・メモができる用意（保護者用）
- ・描画用：A4の大きさの紙（コピー紙OK） 子供も大人も、1人に1枚
- ・描画用：濃い鉛筆（2B以上推奨） 子供も大人も、1人に1本
- *描画用：A4用紙を挟むバインダー（あると便利です。なければ机の上で直接描きます。）

<保護者の準備>

親子鑑賞の心構えのようなものです。5分程度で読めるとお思いますので、開始までにリンク先に目を通しておいていただくと、ありがたいです。

<https://note.com/yusatoweb/n/n8b6d2da6911d>

<保護者用資料>

- ・プリントして手元に置いておいてもらう資料：1枚 以下からダウンロードできます。

https://dd851dab-555d-4c41-bbe5-c3c608de5893.usrfiles.com/ugd/dd851d_d9191ba7cac54341bd9c31edd7afc2f9.pdf

<鑑賞作品> *子供さんには見せないで下さい。

通信障害や、モニターの大きさの影響で、作品が見にくくなるのを避けるため、

使用する作品3点のデータを以下に置いておきます。ダウンロードしてお使い下さい。

（画像はパブリックドメインのものを使用しています。）

- ・「部屋の絵」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_9ea6d5d6fc0949c0a4fbad5054c516ec~mv2.jpg
- ・「波の絵」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_ad03c247dab14a7ca44090e1474aa345~mv2.jpg
- ・「木の絵」 https://static.wixstatic.com/media/dd851d_bdf1b94cb018439e974478d0b89daf21~mv2.jpg

*大きめのモニターの場合は、当日ダウンロードした画像を、別ウィンドウで開いて参加して下さい。

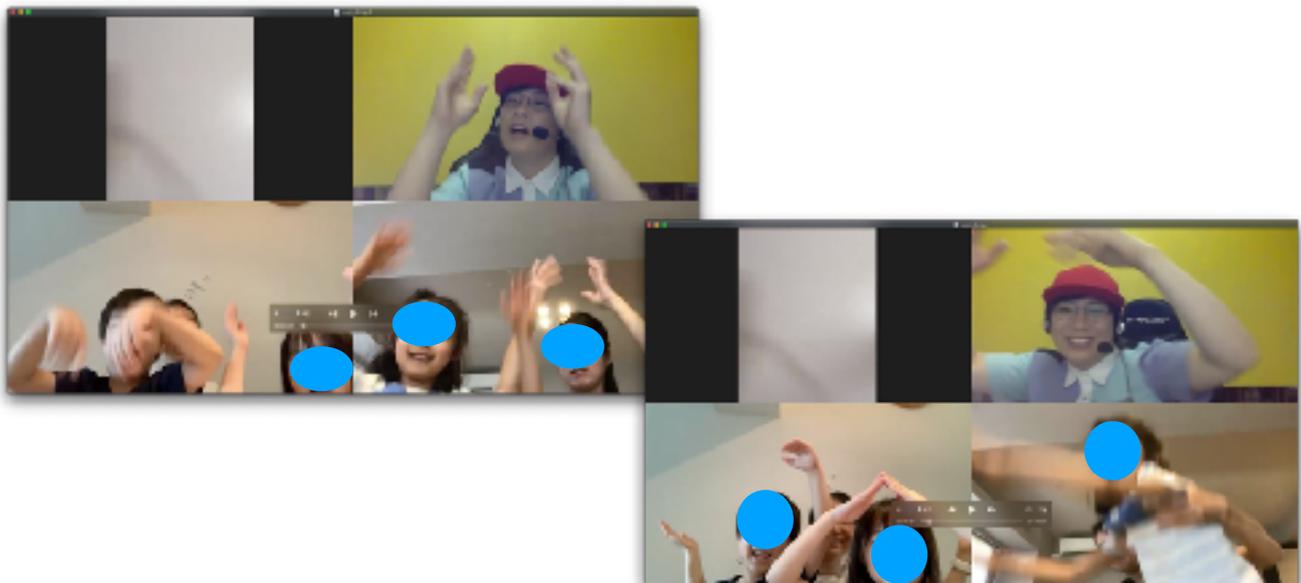
使っているモニターでは、画像が見つらいなと感じられた場合は、

ダウンロードした画像を、できれば子供さん1人に1枚、A4サイズで印刷して参加して下さい。

（印刷の画質はお任せします。過度にこだわらなくても問題ありません。）

お手数おかけしますが、よろしくお願ひします。 質問がこちらまで mail@yusatoweb.com
佐藤

内容	詳細 *赤字は実行後の改良想定部分	時間	経過
準備	上記のテキストを送信		
挨拶・自己紹介 導入	<p>録画開始</p> <p>手元カメラ</p> <p>佐藤悠、今日はいろんな絵をいろんな方法でみてゆきたいと思います。</p> <p>はじめに、それぞれ名前と何年生か言ってもらおう。</p>	10	
ウォーミングアップ	<p>全員で体を動かして、ほぐして準備体操をしたいと思います。</p> <p>今から言うものを体で表して下さい。ギャラリービューに「雨」を表す。だれかできそうな子、または親にやってもらおう。</p> <p>みんなで真似し合う。</p> <p>次に、雨が降ってくるころから、だんだん雨が強くなって、大雨、雷が鳴って、また雨が止んでゆくところ・・・をやってみる。</p> <p>同じように、アドリブで状態変化をしてゆく</p> <p>降り始め～アドリブで状態変化～大雨～雷～風～台風～川～海～海の中、海にいるもの</p> <p>次に、この海を体でまねする。</p> <p>「波の絵」を準備。どの部分を、どんなふうに表示するか考える。</p> <p>画像：「北斎の波の絵」</p> <p>止まってもいいし、動いてもいい。10秒で発表 録画してもう一回見てみる。</p> <p>10秒間でやってみる。画面録画</p> <p>形がそっくりでなくても、見てる人は面白い。</p> <p>何でこの絵でそんな真似になるの？そう感じたんだ！っていう驚き。</p>	15	10



おはなし鑑賞	<p>「いろんなやりかたで絵を見る」ということをやってみる。 まず、おはなししながら、絵をみる。絵を見せるので、見てわかったこと、気づいたことをどんどんお母さんお父さんに教えて言ってください。 おとうさん、おかあさんは、ただひたすらそれを聞くという、絵の見方です。</p> <p>子供たちは、「おはなしメガホン」を作ります。 工作用のA4用紙を丸めて、テープで止めて、メガホンを作って下さい。 大人たちは事前に配った「おはなし鑑賞」の説明プリントを用意してください。 メガホンができたら、次ページのルールを確認する。 =====</p> <p><u>ルール①：</u> <u>保護者は自分の意見が言えません。その代わり、</u> <u>以下のような質問をして、子供が感じたことをよ〜く聞いてもらいます。</u></p> <p>以下は「対話型美術鑑賞」という、美術館等で行われている鑑賞方法の基本なので、これを機会に覚えておいてもらおうと、ご家庭でも鑑賞をより楽しめると思います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">・何がおこっている？何が描いてある？</td> <td style="padding: 2px;">（見つけたこと）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・なぜそう思うの？</td> <td style="padding: 2px;">（発言の理由や根拠）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・他に気づいたことはある？</td> <td style="padding: 2px;">（話を展開する）</td> </tr> </table> <p>*お話した内容は、後で保護者にお話ししてもらうので、 忘れないようメモを取りましょう。</p> <p>*子供たちが答えやすいオリジナルの質問をしてもらってもOKです。 *言葉にならない気持ちもあるので、言葉にできない時は、焦らせないで、その様子を見守り、よく観察してください。 必ずしも感じた全てを言葉にできることが良い鑑賞とは限りません。 *長く鑑賞の時間があると、飽きる事もよくあります。 が、しばらくすれば興味が復活する事もあるので、暖かく見守ってください。</p> <p><お話し鑑賞のながれ></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">・ルール説明</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">5分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・作品を見ながら お話し鑑賞タイム</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">6分程度</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・お話の内容を保護者が発表（子供は発言したい人だけ）</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">15分程度</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・絵についてのお話</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">10分程度</td> </tr> </table> <p>*きょうだいで参加の家庭は、 お話しタイムを半分に分け、順番にお話しするようにします。 鑑賞時間6分のうち、最初の3分は弟さんの時間 後の3分はお姉さんの時間とします。</p> <p>大人は、「部屋の絵」を用意してください。 では、今からおはなし鑑賞を始めます。 画像：ゴッホ「アルルの寝室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6分経過後、親にどんな話があったか共有してもらおう。 佐藤も所感を伝える。 <p>絵についてのお話 ゴッホ60分経過</p>	・何がおこっている？何が描いてある？	（見つけたこと）	・なぜそう思うの？	（発言の理由や根拠）	・他に気づいたことはある？	（話を展開する）	・ルール説明	5分	・作品を見ながら お話し鑑賞タイム	6分程度	・お話の内容を保護者が発表（子供は発言したい人だけ）	15分程度	・絵についてのお話	10分程度	35	経過
・何がおこっている？何が描いてある？	（見つけたこと）																
・なぜそう思うの？	（発言の理由や根拠）																
・他に気づいたことはある？	（話を展開する）																
・ルール説明	5分																
・作品を見ながら お話し鑑賞タイム	6分程度																
・お話の内容を保護者が発表（子供は発言したい人だけ）	15分程度																
・絵についてのお話	10分程度																



<p>おえかき鑑賞</p>	<p>こんどは、絵を描きながら、絵を見る。とすることをやってみたいと思います。 絵を描く用の紙と、鉛筆を全員分用意してください。 画像：ゴッホ「糸杉」 今からまた絵を見せます。この絵です。 「ここ変だな、気になる、面白い」と思ったところを、どんどん、こちらの紙に描き出していきましょう。時間は5分です。 描き方はじゆう。どこから描いても良い。例えば・・図鑑のように 言葉で書く方法も 佐藤の画面をみながら見本を見せる。 大人も子供も全員でやる。 みんなで順番に見せ合う。</p> <p>描くとよくみる。描くことは見る訓練。 最後に時間があれば、描いた部分を体で表してみる。</p>	<p>25</p>	<p>経過</p>
<p>まとめ</p>	<p>いろんな作品との向き合い方。スライド ・お話しする・絵を描く・体で表す</p> <p>黙って静かにみるのも良いけれど、いろいろ試してみると楽しいかも。</p>	<p>15</p>	<p>10</p>

